

この文書について

- この文書には、製品の使用および管理に関する手順が記載されています。本文中に含まれる図、チャート、画像、およびその他の情報は、説明および参考目的のみを目的としています。
- 本文書に記載されている情報は、ファームウェアの更新またはその他の理由により、事前の通知なしに変更される場合があります。最新のバージョンは、Hikvisionのウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別途合意がない限り、杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的でないかなる保証もいたしません。
- 本ドキュメントは、

製品サポートの専門知識を有する技術者。

この製品について

この製品は、購入した国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。

知的財産権の承認

- Hikvisionは、本文書に記載される製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許権を保有しています。これには、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックを含む）

など、Hikvisionに属します。本文書のいかなる部分も、書面による許可なしに、引用、複製、翻訳、または改変を一切行うことはできません。

- HIKVISION** およびその他のHikvisionの商標およびロゴは、各管轄区域においてHikvisionの財産です。
- その他の商標およびロゴは、それぞれ該当する所有者の財産です。

法的免責事項

- 適用される法律で許される最大限の範囲において、本文書および記載された製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は「現状有姿」かつ「一切の瑕疵およびエラーを含む」状態で提供されます。Hikvisionは、明示的または黙示的でないかなる保証も提供しません。これには、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されません。本製品の使用は、お客様の責任において行われます。いかなる場合においても、HIKVISIONは、特別損害、間接損害、付随的損害、または派生損害（事業利益の損失、事業の中断、データの損失を含むがこれらに限定されない）について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、一切の責任を負いません。システムの破損、または文書の損失を含む損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合、HIKVISIONは一切の責任を負いません。これは、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合でも同様です。
- あなたは、インターネットの性質上、内在するセキュリティリスクが存在することを承認し、HIKVISIONは、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシー漏洩、またはその他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて適切な技術サポートを提供します。
- あなたは、この製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、あなたの使用が適用される法律に準拠していることを確保する責任は、あなたのみにあります。特に、あなたは、第三者の権利（publicity rights、知的財産権、データ保護その他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない）を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、または人権侵害を支援する目的での使用を含みます。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合、後者が優先されます。

©杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社。すべての権利は、当社に帰属します。

デバイス情報

このマニュアルは、無線ブリッジの全シリーズを対象とした一般的な操作手順書です。以下のQRコードをスキャンし、希望のデバイスモデルを選択して、対応するデバイス情報を取得してください。



Hik-Partner Proのインストール

以下のQRコードをスキャンしてHik-Partner Proアプリをインストールし、ワイヤレスブリッジをリモートで管理できます。



適用製品

このマニュアルは、Hikvision ワイヤレスブリッジに適用されます。

記号の規約

この文書で表示される記号は、以下のとおり定義されています。

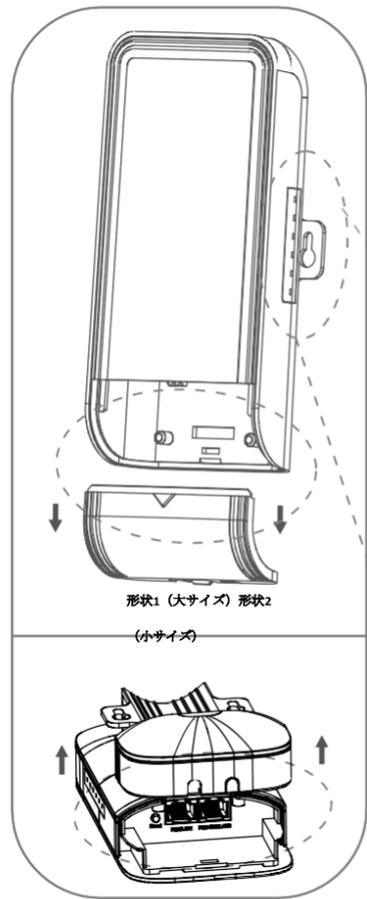
記号	説明
	本文の重要なポイントを強調したり補足したりするための追加情報を提供します。
	潜在的な危険な状況を指示し、回避されない場合、機器の損傷、データ損失、性能の低下、または予期しない結果を引き起こす可能性があります。
	高いリスクレベルの危険を指摘し、回避しない場合、死亡または重傷を引き起こす可能性があります。

安全情報

- 付属のアクセサリを使用して機器を電源に接続してください。
- メンテナンス担当者が容易に操作できる場所に装置を設置してください。
- 装置をメンテナンスする際は、電源を必ず切断してください。
- メンテナンスを行う際は、電源を切ってください。装置が動作中は、カバー周辺の温度が高くなります。この場合、設置やメンテナンスなどの専門知識を有する者以外は、絶対に触れないでください。
- 従業員は、この装置を操作することが許可されています。デバイスのパスワードの強度は自動的に確認できます。製品のセキュリティを強化するため、ご自身で選択したパスワード（大文字、小文字、数字、特殊文字の少なくとも3種類を含む8文字以上）に変更することを強くおすすめします。
- 製品のセキュリティを強化するため、推奨します。特に高セキュリティシステムでは、パスワードを定期的に変更することを推奨します。パスワードを
- 月次または週次で行うことで、製品の保護を強化できます。すべてのパスワードおよびその他のセキュリティ設定の適切な設定は、インストール担当者および/またはエンドユーザーの責任です。

1 梱包リスト

ワイヤレスブリッジ

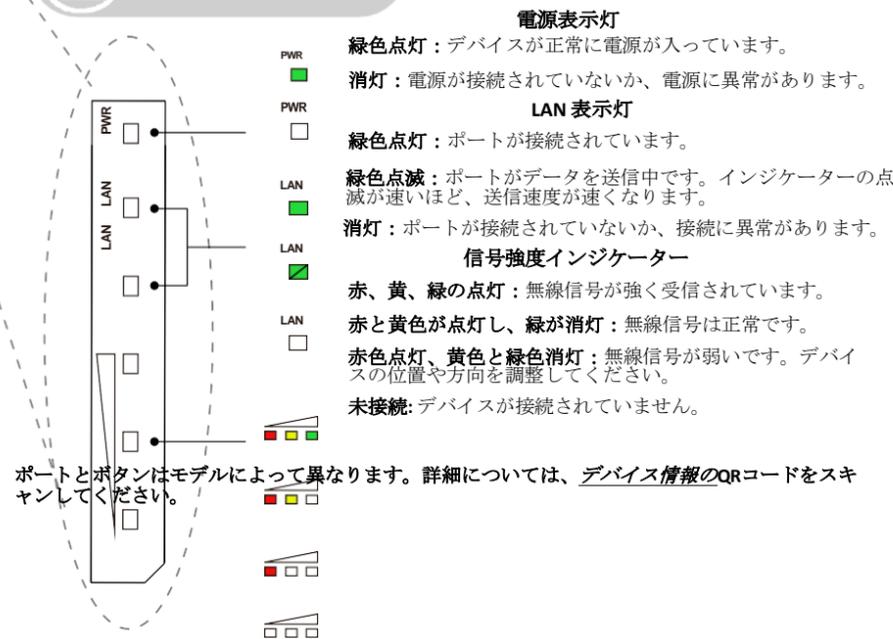


3 ポート/ボタン

Note

- このマニュアルに記載されている図は参考用です。
- 外観および梱包内容は、モデルによって異なります。
- 一部のモデルのみにアンテナアクセサリバッグが付属しています。
- 異なるモデルの詳細な情報については、[デバイス情報のQRコード](#)をスキャンしてください。

2 インジケーター



Note

①	②	③	④	⑤	⑥
Reset					
① リセット	4秒間長押しして、デバイスを工場出荷時設定に復元します。	② AP/CPE DIPスイッチ	④ 電源入力	⑤ LAN	⑥ 電源出力
		スイッチを上下または左右に切り替えて、デバイスをAPまたはCPEとして設定します。	アダプティブRJ45ポート。PoE入力ポートとしても使用可能です。	アダプティブRJ45ポート。イーサネットケーブルでネットワーク機器に接続します。	アダプティブRJ45ポート。PoE出力ポートとしても使用可能です。
		SSID			
		SSIDを4文字に設定するには、スイッチを上下に切り替えます。CPEは、そのSSIDがAPのSSIDと一致する場合にAPIに接続します。			
		③ DCポート			
		付属の電源アダプターを使用して、DCポートをソケットに接続してください。			



ワイヤレスブリッジ

クイックスタートガイド



4 アクティベーション

初回アクセス時は、デバイスをアクティベートし、ペアリングする必要があります。以下の手順では、**Hik-Partner Pro** アプリでの手順を説明します。ウェブブラウザ、iVMS-4200 クライアント、SADP ソフトウェアなどの他のツールでのアクティベート手順については、**デバイス情報** QRコードをスキャンし、**リモート管理章**の情報を参照してください。

開始前に

- QRコードをスキャンしてHik-Partner Proアプリをダウンロードしてください。
- ブリッジデバイスを電源オンにします。
- ブリッジデバイスを無線ネットワークデバイス（例：無線ルーター）に接続します。
- 無線ルーターがインターネットに接続されていることを確認してください。
- スマートフォンを無線ルーターのWi-Fiに接続してください。



Note
スマートフォンをWi-Fiに接続できない場合は、USB-C to RJ45アダプター、スマートフォンとネットワーク内のデバイスが同じLANに接続されていることを確認してください。

ステップ1: デバイスの一括アクティベーション 以下の画像は参考用です。実際のインターフェースが優先されます。

- アプリのホーム画面で「SADP」をクリックします。
- ワイヤレスブリッジが検出された後、**[一括]**をクリックします。
- 一括アクティベート。
- アクティベートする無線ブリッジを選択し、次へをクリックします。
- 画面の指示に従ってデバイスパスワード*を設定します。これは、デバイスをリモートで管理するためにデバイスのWEBにログインする際に使用されます。
- (オプション) デバイスパスワードをデフォルトパスワード*として設定するかどうかを選択します。これにより、HPP上の他のデバイスを迅速にアクティベートできます。
- 次へをクリックします。

ペアリング

- APブリッジとして使用するデバイスを選択します。
- CPEをクリックし、CPEブリッジとして少なくとも1つのデバイスを選択します。
- 表示される指示に従ってSSIDとパスワード*を設定します。
- 国/地域を選択します。
- 確認をクリックします。
- ルーターからCPEを接続解除し、ループを回避してください。

Note
ペアで梱包されたデバイスは自動的に互いに接続されます。

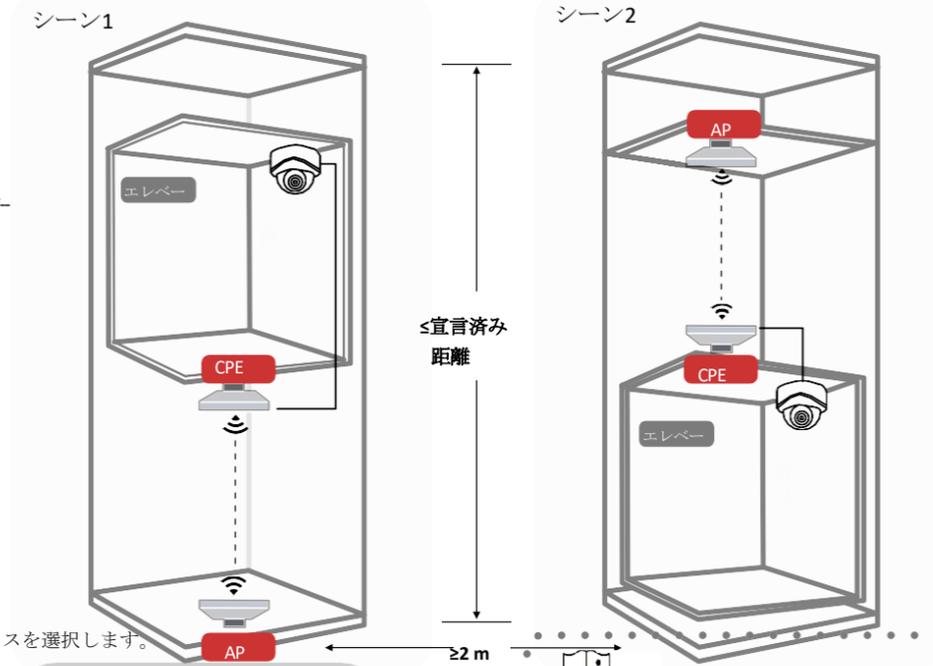
Note
同じブリッジグループ内のブリッジは、ペアリングのために同じSSIDとパスワードを共有します。

デバイスを追加

- 既存のサイトを選択するか、**[More]**をクリックして新しいサイトを作成します。
- [OK]**をクリックして、デバイスをサイトに追加します。
- [完了]**をクリックします。
- サイトを**引き渡す**をクリックします。
- 方法を選択し、画面の指示に従って操作します。

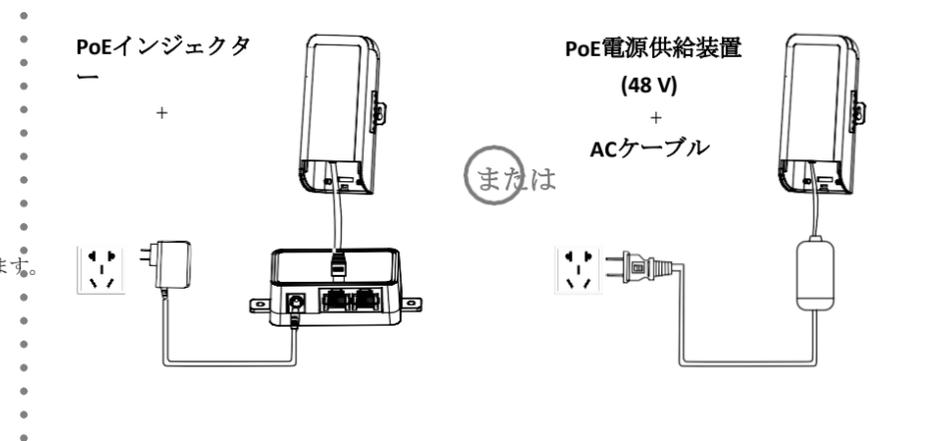
5 インストール

- APとCPEデバイス間の最適な設置距離は、通信速度を確保するため、**指定された距離**を超えないようにしてください。
- APとCPEの表面にブランドロゴが印刷されている部分は、障害物がない状態で向かい合わせに配置してください。
- デバイスと壁の間には少なくとも**50cm**の距離を空けてください。
- 隣接する2つのデバイス間には、少なくとも**2メートル**の距離を保ってください。



Note

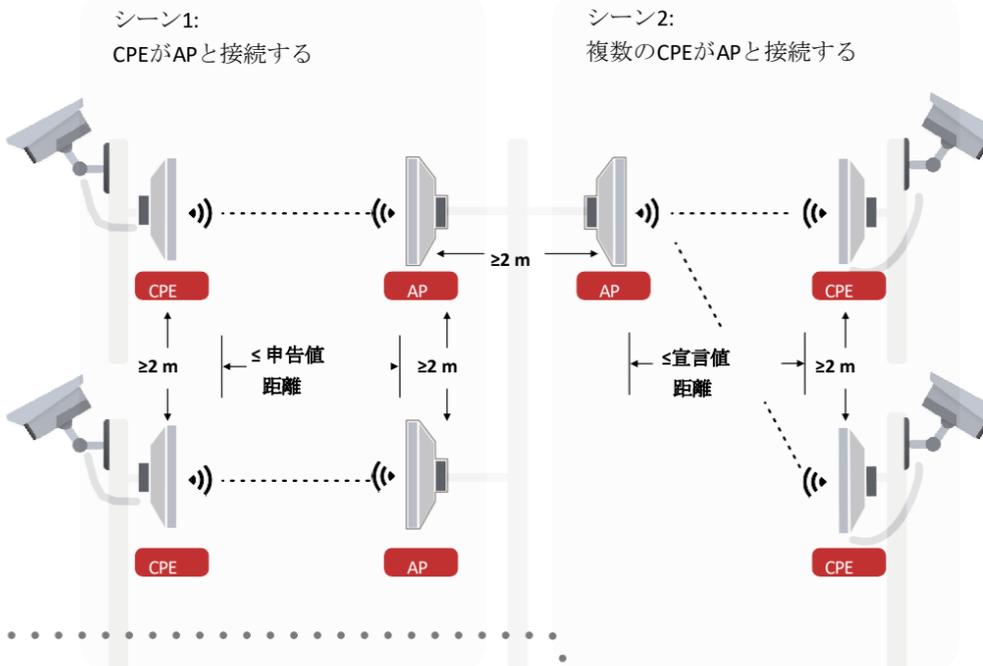
- The figures in this manual are for reference only.
- The complete networking method of the device depends on the application scenario.
- For detailed information on different models of devices, please scan the QR code of the **Device Information**.



パッシブPoE対応デバイス

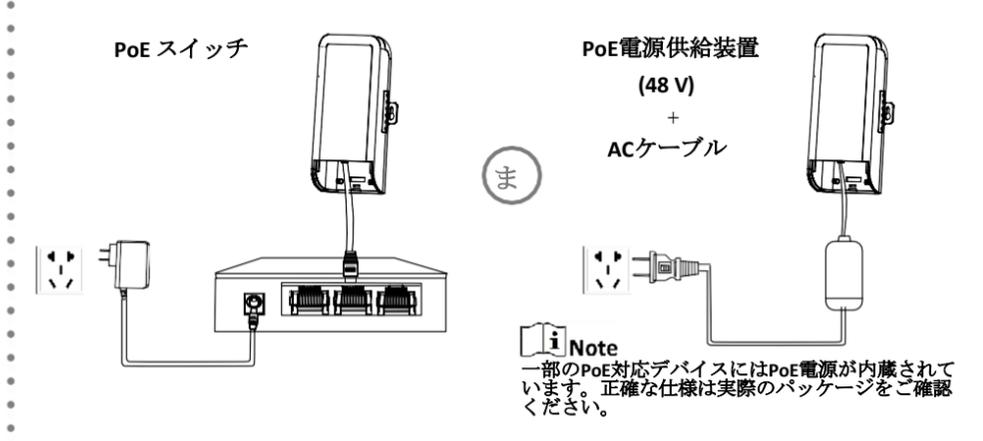
エレベーターシリーズ 屋外シリーズ

- APとCPEデバイス間の最適な設置距離は、伝送速度を確保するため、**指定された距離**を超えてはなりません。
- APとCPEの表面にブランドロゴが印刷されている部分は、障害物がない状態で向かい合わせに配置してください。
- 最大偏角は、指定された角度内にある必要があります。
- 隣接する2つのAPデバイス間には、少なくとも**2メートル**の距離を保ってください。



Note

- The figures in this manual are for reference only.
- The complete networking method of the device depends on the application scenario.
- For detailed information on different models of devices, please scan the QR code of the **Device Information**.



標準PoE電源供給デバイス

Note
一部のPoE対応デバイスにはPoE電源が内蔵されています。正確な仕様は実際のパッケージをご確認ください。